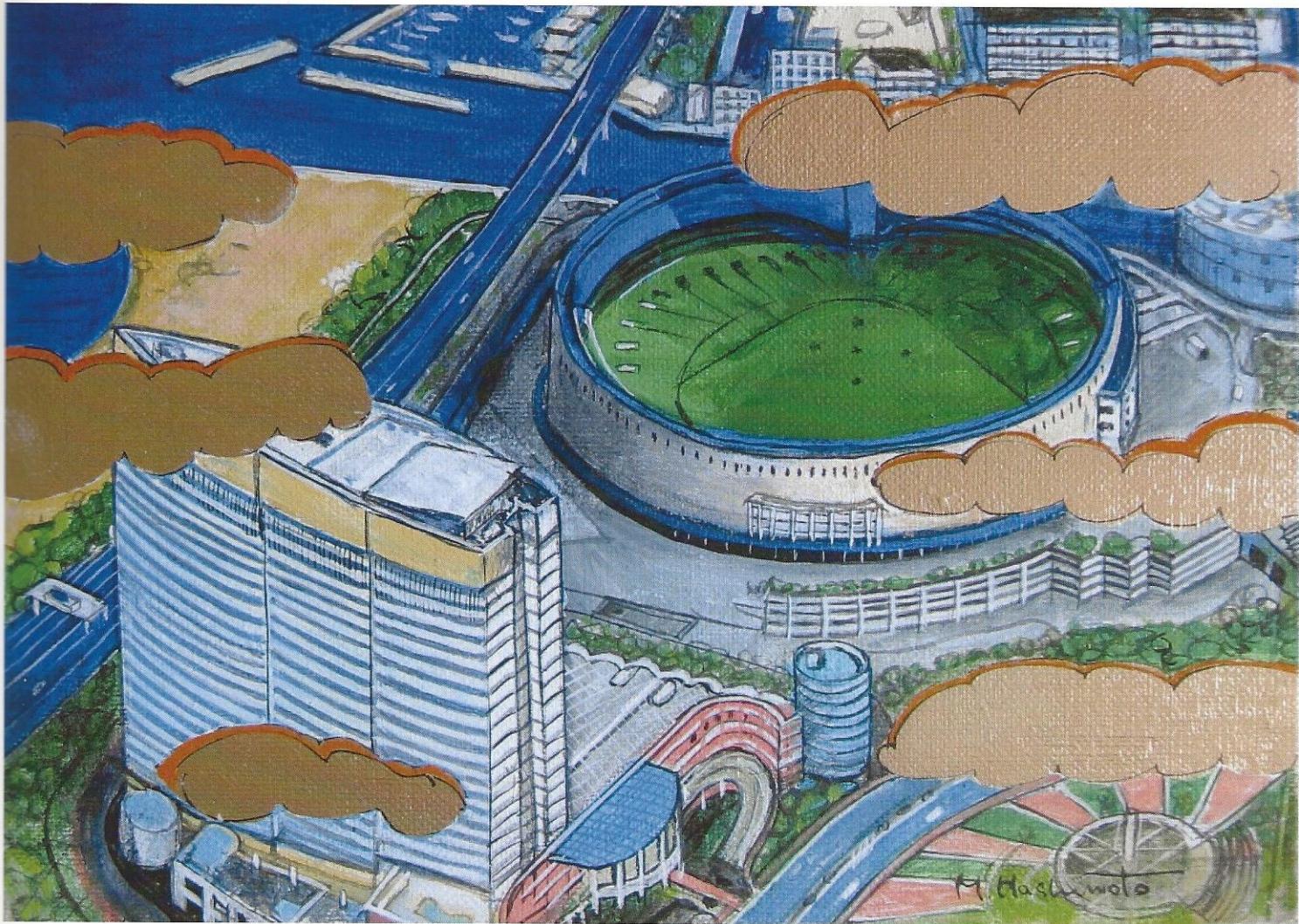




55 創立記念誌 年年のあゆみ

第51期~第55期 (2019~2023)



2023.2.14 ANA クラウンプラザホテル福岡



ライオンズクラブ国際協会 337-A 地区 4R・3Z
福岡博多東ライオンズクラブ

2022-2023年度 国際会長提言
「Together We Can」

ライオンズクラブ国際協会
会長 L. ブライアン E. シーハン

2022-2023年度 ガバナー提言
「思いやりと誇りをもつて」

ライオンズクラブ国際協会337-A地区
地区ガバナー L. 二場 安之

2022-2023年度 会長提言
「楽しい例会、心込めた奉仕」

ライオンズクラブ国際協会337-A地区 4R・3Z
福岡博多東ライオンズクラブ
会長 L. 西山 多嘉禰

結成55周年を迎えて



福岡博多東ライオンズクラブ
会長 L. 西山 多嘉禰

福岡博多東ライオンズクラブは、おかげさまで昭和43年の結成以来、55周年を迎えることができました。

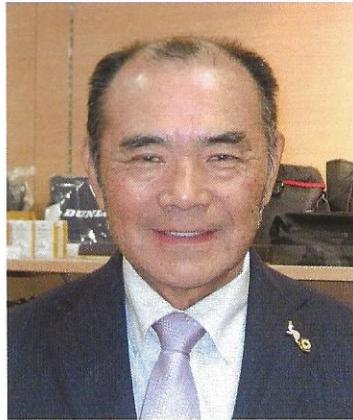
この間、社会環境及び経済環境は、目まぐるしく変遷を重ねたものの、会員の皆様には、いろいろな事業を抱えながらも奉仕の精神を忘れることなく、活発な活動を継続されてきました。

また、歴代会長及び役員の皆様には、クラブ内の融和を第一にして、アットホームな伝統を今日まで脈々と培っていただきました。

海外向けには東南アジアに注目し、30周年記念事業として、ネパールの第二の都市ポカラ近郊のニルマルポカリ村に小学校を建設し、運営はその資金の一助とすべく、コーヒー栽培を同村に導入する等積極的に関与し、激変した同国の教育政策に対応しています。

40周年記念事業としては、インドネシアのバタム島の干潟(100m×30km)にマングローブ植林を行い、CO₂の削減と地元に漁場を提供するものでしたが、現在、マングローブの活着率の問題から休会となりました。しかし、協同の地元の4ライオンズクラブは若干規模を縮小して、継続しています。

この数年は、「コロナ」というパンデミックにより、残念ながら会員数が減少の止むを得ないことになっていますものの、当クラブの奉仕事業は「継続」を旨としていますので、この55周年を契機にお一層、全員で頑張ってまいります。



福岡博多東ライオンズクラブ
結成55周年記念式典
実行委員長 L. 松尾 剛

福岡博多東ライオンズクラブの歴史を紐解いてみると、有力な先輩ライオンのおかげで、昭和43年10月10日に九電体育館でチャーターナイトが開催されたと聞いております。

それ以来おかげさまで55年の歴史を刻むことができました。

これも偏に皆様の温かいご支援とご指導の賜物と深く感謝申し上げます。

本日は、当クラブの結成55周年記念式典開催に当たりまして、ご多忙の中多数ご臨席賜りありがとうございますとともに、心から歓迎申し上げます。

当クラブでは、結成30周年記念事業として、ネパールに学校建設し、その運営を行い、また地球環境問題をテーマとしてインドネシアにマングローブの植樹を行う等国際的奉仕活動や、国内では特に青少年育成を中心とした数々の奉仕活動、災害復興のための支援活動、社会的テーマである薬物乱用防止啓発活動などを課題として奉仕活動を取り組んでまいりました。

これからも諸先輩が築かれた福岡博多東ライオンズクラブらしい、社会のニーズに合った奉仕活動を模索し、ライオニズムの高揚に貢献したいと考えています。

どうかこれからも更なるご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のクラブの益々の発展を祈念申し上げます。

祝辭



福岡市長
高島 宗一郎

福岡博多東ライオンズクラブが結成55周年を迎えられ、記念式典が盛大に開催されますことを、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、昭和43年のクラブ結成以来、「We Serve—われわれは奉仕する」という尊い精神のもと、青少年の健全育成事業や九州各地で発生した豪雨災害への支援、ネパールの子供たちへの教育支援など、地域に密着した奉仕活動や国際的な支援活動に積極的に取り組んでこられました。このような素晴らしい活動を継続しておられますのも、歴代会長、役員の皆様、そして会員の皆様方の熱意とご尽力によるものと心から敬意を表します。

福岡市ではこれまで、「都市の成長」と「生活の質の向上」の好循環を創り出すことを都市経営の基本戦略として掲げ、まちづくりに取り組んできた結果、人口は増え続け、企業の立地や創業も進むなど、元気なまち、住みやすいまち、として国内外から高い評価を頂いております。

一方、世界に目を向けてみると、カーボンニュートラルの実現やデジタル化への対応など、社会経済は大きな変革期にあると同時に、様々な価値観が大切にされる時代となっています。

このような中、福岡市では、すべての人にやさしく「ぬくもり」のある社会を目指すとともに、天神ビックバンや博多コネクティッドにより、まちが大きく生まれ変わっていく中で、みどりや文化芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、まちに「彩り」を加え、多様な豊かさを感じられる、市民一人ひとりの「Well-being」を大事にするまちづくりを進め、人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市を目指してまいります。

今年は3月に、地下鉄七隈線がついに全線開通を迎えます。そして7月には、世界水泳選手権がいよいよ福岡で開催されます。世界中から選手や関係者の皆様をお迎えできることを期待しております。

今後とも、ライオンズクラブの皆様をはじめ、市民・企業の皆様のお力添えを賜りながら、次世代に明るい未来を引き継ぐためのチャレンジを続けてまいりますので、引き続き、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

この55周年を契機として、貴クラブがさらに結束を強められ、充実した奉仕活動を展開されることを願っております。

最後に、福岡博多東ライオンズクラブの皆様の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご活躍を心より祈念し、お祝いの言葉といたします。

祝辞



元 国際理事
 一般社団法人 日本ライオンズ理事
 一般財団法人 日本ライオンズ
理事長 L.不老 安正

福岡博多東ライオンズクラブ結成55周年、誠におめでとうございます。

貴クラブは福岡博多ライオンズクラブのスポンサーにより、1968年6月に結成され、以来55年、会員の皆様が相互理解の熱い奉仕の精神をもって、地域に根ざした奉仕活動を積み重ねてこられました。

その中でも特に青少年健全育成に力を注がれ、ネパール児童教育振興会の支援を始め、ソフトバレーボール大会や、ちびっ子ラグビー大会、福岡いのちの電話の支援、薬物乱用防止啓発活動など、次代を担う子供たちの健全育成のための活動に情熱をもって取り組まれておられます。

又、地域のための環境保全として、太宰府天満宮の清掃活動や植林事業などにも積極的に活動されています。これらの愛情あふれる地域活動に対し、市民の方からも確かな評価と多くの称賛を受けられ、無くてはならないクラブとして愛されておられます。そのご努力に心より賛辞をお送りするとともに、貴クラブの今後の活動に大いに期待しております。

今期、ブライアン・シーハン国際会長は「皆でやればできる」をメッセージとされ、皆で力を合わせれば不可能を可能にすることができます。偉業を成し遂げるには私たち全員が額に汗して、それぞれの役割を果たす必要があると呼びかけておられます。そのためにもライオンであることの喜びを共有し、奉仕する目標を高く掲げることが重要となります。

現在、コロナ禍によって、生活や仕事、奉仕の在り方が大きく変わってきました。今こそ地域社会が安心できる暮らしを取り戻すための行動が求められています。

最後になりましたが、この55周年を契機として貴クラブがますます地域のリーダーシップを發揮され、さらに飛躍発展されることを願い、関係各位のご健勝とご多幸をお祈りし、祝辞とさせていただきます。

祝 辞



337-A 地区ガバナー
L. 二場 安之

向春の候、福岡博多東ライオンズクラブの結成55周年記念式典が盛大かつ厳粛に開催されますことに、337-A地区を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。今期、55周年の記念すべき節目を迎えることはクラブにとりましても大変喜ばしいことと存じます。

貴クラブは1968年(昭和43年)6月26日に337-A地区福岡博多ライオンズクラブのスポンサーにより結成されて以来、55年の長きにわたり国内はもとより、グローバルな視点で地域社会に密着し、長期計画を取り入れた多くの奉仕活動を続けてこられました。

1999年7月にネパールのニルマルポカリ村に「福岡・ニルマルポカリ小学校」として開校し、現在では幼稚園から中学・高校までの多くの児童が学んでおられます。発展途上国に対する国際協力を計画し、図書館の建設や教育施設の拡充、コーヒー栽培事業への着手、ネパール児童基金の創設など支援だけではなく、同時にNPO法人福岡ネパール児童教育振興会を設立し、援助終了後の自立運営等を行われました。

会長L西山 多嘉禰の提言である【楽しい例会、心こめた奉仕】を掲げ、クラブ一丸となられてライオニズムの高揚にお力添えいただいておりますことに敬意を表しますと共に厚く御礼を申し上げます。

支援を必要とされる方々への思いやりとライオンズクラブのメンバーであることへの誇りをもって未来志向で前向きな奉仕を行い、支援を求められている方々と会員一人一人が互いに笑顔でいられる様に、そしてライオンズのメンバーで良かったと思えるクラブ作りに取り組んでいただき、会員各位が『ライオンズが好きだ、奉仕が好きだ、仲間が好きだ』となられますことを心より願っています。

結びに、本日の55周年記念式典を機に貴クラブの益々のご発展と会員各位のご健勝ご多幸を心より祈念申し上げ、祝辞とさせていただきます。

祝辞



スポンサークラブ
福岡博多ライオンズクラブ
会長 L.熊谷 純一

福岡博多東ライオンズクラブが結成55周年を迎えられ、記念式典がこのように盛大に開催されますことを、スポンサークラブの福岡博多ライオンズクラブ会員を代表致しまして、心よりお祝い申し上げます。

貴クラブにおかれましては、1968年6月に結成されて以来、会員の皆様の熱い奉仕の精神のもと、継続事業として特に福祉・青少年健全育成事業に力を注がれ、福岡市金印ライオンズカップソフトバーボール大会の主催、青少年に薬物乱用の恐ろしさを知つてもらうための薬物乱用防止教育および街頭宣伝活動など、子供たちの健全育成に積極的に取り組まれています。

同時にグローバルな活動も展開され、ネパール児童教育振興として、小学校の開校、図書館の建設など、地域を超えた奉仕活動を展開しておられます。

この間に福岡那の津ライオンズクラブ、福岡博多祇園ライオンズクラブ、福岡博多シティライオンズクラブ、福岡那の香ライオンズクラブのエクステンション実施と言う素晴らしい実績を積み重ねてこられました。

これらの活動が長きにわたり継続されておりますのも、歴代会長をはじめ、役員・会員の皆様の弛まぬご努力と熱意の賜物であると、心より敬意を表します。

最後になりましたが、福岡博多東ライオンズクラブの益々のご発展と会員皆様のご健勝を心より祈念申し上げお祝いのことばと致します。

祝 辞



台北市光華獅子會
第48屆的會長 L. 林芥長

日本博多東姐妹會授證 55 周年祝賀詞

日本福岡博多東獅子會西山多嘉禰會長暨全體獅兄嫂：
三年的疫情阻隔貴我兩會的互動交流，但切不斷台北光華獅子會對貴會獅兄嫂的關懷，健康平安是我們共同的願望。

本人林芥長是台北市光華獅子會第 48 屆的會長，今天以期待、盼望和感謝的心情帶領獅兄嫂在中斷長達三年的交流，以興奮的心情，重新踏上日本國土，來到福岡與您們見面，內心既高興又激動來參加貴會授證 55 週年紀念大會，除了與您們見面外，也代表台北市光華獅子會全體獅兄嫂的祝福，祝貴會授證大會圓滿成功會務昌隆，全體獅兄嫂平安健康。

更以感恩的心代表本會感謝貴國政府與人民，在疫情肆虐期間，義不容辭無償捐助大量疫苗給台灣，讓台灣民眾免於受到生命的威脅，此等義舉將永留在台灣人民與本會全體獅兄嫂的心中。

本會成立于一九七五年七月，與貴會結盟于一九七五年十一月，四十七年來在歷任會長共同努力的經營下，貴我兩會緊密的結合，對台日文化、民間的交流，發揮巨大的貢獻，希望今後能更加緊密的繼續發揮實踐獅子主義精神，服務社會造福社會。

謹祝今天大會圓滿成功，貴會獅運永昌，獅兄嫂健康幸福美滿。

福岡博多東ライオンズクラブ 55周年への祝辞

日本福岡博多東ライオンズクラブ西山多嘉禰会長並びに会員の皆様へ。
三年にわたるコロナ禍により、両クラブの相互交流は阻まれてきましたが、台北市光華ライオンズクラブの貴クラブ会員の皆様への思いが阻まれることはありません。健康と平安を常に願うことは我々共通の願いであります。

私、林芥長は台北市光華ライオンズクラブの第48代会長として、皆が待ち望んでいた三年ぶりの交流にあたり、本日は期待と感謝の気持ちをもって、非常に待ちきれない気持ちをもって日本の土を踏んでおります。実際に福岡を訪問し皆様にお目にかかることができること、貴クラブご成立55周年記念式典に参加できること大変嬉しく思っております。台北市光華ライオンズクラブを代表し我がクラブ全員の祝福をもって、貴クラブ記念式典のご成功と会員の皆様のご健勝をお祈りいたします。

さらに日本国政府と国民の皆様に対し、新型コロナウイルスが猛威を振るう中、台湾へ無償で大量のワクチンを提供してくださり台湾国民を生命の危機から救ってくださったこと、クラブを代表して心から感謝申し上げます。このご恩は我がクラブ会員はじめ台湾国民全体の心に永く刻まれることでしょう。

我がクラブは1975年7月に成立、貴クラブと同年11月に姉妹関係を締結し、以来47年にわたり両クラブ歴代会長による相互協力のもと、緊密な台日文化、民間交流発展への多大な貢献をしてきました。今後も更なる緊密な関係を築き、ライオンズクラブ精神を發揮し、社会奉仕に努めてまいりましょう。

本日の式典のご成功を祈念いたしますとともに、貴クラブの益々のご繁栄と皆様のご健勝をお祈りし祝辞とさせていただきます。

祝辞



北九州帆柱ライオンズクラブ
会長 L. 原田 昭

結成55周年、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。

私にとりましては、福岡博多東ライオンズクラブと云えば、先ず何よりも頭に浮かぶのは1997年にスタートされた「ネパールの児童教育支援事業」の事です。

勿論、多くの方々の記憶に残る大事業であったことは云うまでもないと思います。当時の30周年記念事業の委員長を努められた故L.篠隈、同じく故L.山崎を筆頭にクラブ全員の大変な努力の結晶で実現した一大事業だと思います。

その後の福岡・ニルマルポカリ学校運営に関しても幾多の問題を可能な限りの政治的機関と民間と数多くの協議を重ね実行可能な結論を導いて来られ、その実績は年々顕著となり、村にコーヒー園も設立し、生産、販売事業も成功を収められネパールからの福岡への留学生も誕生するという25年間にわたる長期間のアクティビティを現在も実行中です。これだけでも大変な事業なのにその上更に設立40周年記念事業として「ライオンズの森プロジェクト」に着手され、インドネシア共和国バタム島に於ける干潟300haにマングローブを植林し、マングローブ林にするという30年にわたる事業を実施され、337-A地区でも常にリーダーシップを以って指導されて現在に至っています。

歴代会長のご指導の下、会員の団結力と行動力を發揮されて数多くの輝かしい功績を残されている素晴らしいクラブだと思っています。それは、現会長L.西山に至っても受け継がれ、アクティビティの質と量に至っては他クラブの大きな手本となるものであると信じて止みません。

私たちのクラブは9名の会員です。少人数でいろいろと活動に支障を来すことも多々ありますが、貴クラブを手本にライオンズクラブらしく活躍できるように頑張っておりますのでよろしくご指導の程お願い致します。

最後に、西山会長のもと貴クラブの益々のご発展とご活躍を祈念致しましてお祝のことばとさせていただきます。

51期～54期の主な行事の紹介

51期

会長：女賀 信治
幹事：橋本 勝
会計：高柳 賢一
期末会員数：40名

2018.7→2019.6 (平成30.7～令和1.6)

- 2018.7 インドネシア バタム島のライオンズクラブ訪問
2018.7 〈全国政令都市一斉 NO DRUG KNOW DRUG 運動〉参加
2018.9 台北市光華獅子會 訪問
2018.11 薬物乱用防止啓発活動講演(福岡県立柏陵高校)
2018.11 「福岡・ニルマルポカリ学校・開校20周年記念式典」出席
2018.12 クリスマス例会(台北市光華獅子會来福・ANAクラウンプラザホテル福岡)
2019.1 福岡那の香LCと太宰府で合同例会(梅の花自然庵)
2019.1 北九州帆柱LCとの合同例会
2019.2 L.篠隈光彦 逝去
2019.2 金印ソフトバレーボール大会(福岡市総合体育館)
2019.6 市民総合スポーツ大会 ちびっ子ラグビー交流大会ラグビーボール贈呈

50周年の良い流れを引き継ぎ、新会員5名、各委員長も活躍され、明るく楽しい奉仕活動と他クラブとの交流ができました。

しかし、2019年2月にL.篠隈光彦が逝去され、当クラブは大きな精神的支柱を失い、沈痛の思いです。



福岡・ニルマルポカリ学校
開校20周年記念式典



ちびっ子ラグビー交流大会

52期

会長：入江 勇臣
幹事：藤野 和之
会計：高橋 成光
期末会員数：40名

2019.7→2020.6 (令和1.7～2.6)

- 2019.8 家族納涼例会(ANAクラウンプラザホテル福岡)
2019.9 台北市光華獅子會 記念式典に出席
2019.10 北九州帆柱LC 創立55周年記念祝賀会
2019.12 クリスマス例会(台北市光華獅子會出席、ANAクラウンプラザホテル福岡)
2020.1 福岡那の香LCと太宰府で合同例会
2020.2 たけの子山の整備
2020.2 第23回金印ライオンズカップ・ソフトバレーボール大会
2020.3～6 コロナ禍のため例会中止



53期

会長：秋好 正成
幹事：松尾 剛
会計：宮田 克彦
期末会員数：32名

2020.7→2021.6 (令和2.7~3.6)

- 2020.7 コロナ禍のため納涼例会、台北市光華獅子會訪問中止を決定
- 2020.8 薬物乱用防止啓発活動(主催：福岡県生活消費生活センター)
- 2020.8 九州北部豪雨災害に対する義捐金(100万円)を県知事に届けた
- 2020.10 九州北部豪雨災害に対する義捐金(50万円)を日田市長に届けた
- 2020.11 福岡市ラグビーフットボール協会にラグビーボールを寄贈
- 2020.12 クリスマス例会(単独開催)
- 2021.2 第24回金印ライオンズカップ・ソフトバレーボール大会
- 2021.3 L.山崎広太郎 逝去
- 2021.4 L.長野作郎 逝去
- 2021.4 福岡・ニルマルポカリ学校支援チャリティゴルフ大会
- 2021.4 いのちの電話 勉強会

53期は7月の九州北部豪雨とコロナ禍でスタートしました。

7月の福岡県を襲った豪雨被害に対して当クラブは義捐金をお届けすることを迅速に決定し、県と日田市にお届けしました。原田啓介日田市長からは「7月下旬にいち早く義捐金寄贈の御申入れをいただき、温かいお気持ちで感謝しています。」と述べられ、We Serve精神が發揮できました。

また2021年3月にはL.山崎広太郎を、4月にはL.長野作郎が逝去され、当クラブの精神的支柱を失いました。



小川県知事と



原田日田市長と

54期

会長：橋本 勝
幹事：平川 俊夫
会計：田島 彰洋
期末会員数：30名

2021.7→2022.6 (令和3.7~4.6)

- 2021.10 大川中央LCと交流(相互訪問実施)
- 2021.12 クリスマス例会
- 2022.2 薬物乱用防止啓発講演会(福岡教育大付属中学校)
- 2022.4 第25回金印ライオンズカップ・ソフトバレーボール大会
- 2022.5 福岡・ニルマルポカリ学校支援チャリティゴルフ大会
- 2022.6 市民総合スポーツ大会 ちびっ子ラグビー交流大会ラグビーボール贈呈
- 2022.6 薬物乱用防止啓発講演会(春日原中学校)
- 2022.6 婦人部旅行(原鶴温泉泰泉閣)

《一年の経過》

- 1) 54期はコロナ禍の影響を大きく受けた一年でした。7~9月、1~3月の例会中止、さらに恒例の納涼例会、お花見例会、台北市光華獅子會との相互訪問、北九州帆柱LCとの合同例会などの主要行事を中止せざるを得ませんでした。
- 2) 会員相互の報・連・相を密にするためLINEによる「公式」掲示板の開設、例会議事録の発行を行いました。
- 3) 例会の充実を図るために、年間で8回の卓話を実施しました。
- 4) 福岡県「ダメ。ゼッタイ。」普及活動に参加。「いのちの電話」へ賛助金を寄付しました。
- 5) コロナ禍で2年間、相互訪問が出来なかった台北市光華獅子會とはビデオレターでクリスマスと新年の挨拶交換を行い親交を深めました。



クリスマス例会

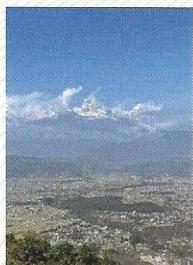
結成55周年記念アクティビティ

①LCIF基金への献金

当クラブと個人献金で総額1,500,000円を献金します。

(献金者)

L.一色 美昭 / L.入江 勇臣 / L.大久保 哲住
L.中島 英之 / L.西山 多嘉禰 / L.原 健一
L.平川 俊夫 / L.藤野 和之 / L.待井 弘道 / L.松尾 剛



②ネパールの児童教育支援(50万円)

認定NPO法人福岡・ネパール児童教育振興会の活動を支援します。

③福岡市金印ライオンズカップ・ソフトバレーボール大会の主催(30万円)

ソフトバレーボール大会を継続して開催します。



④薬物乱用防止啓発講演活動(5万円)

福岡県職員、企業、高校、中学生を対象に薬物乱用防止の啓発講演会を開催します。

⑤ちびっ子ラグビー交流大会への支援(10万円)

ちびっ子ラグビー交流大会出場全チームにラグビーボールを贈呈します。



⑥いのちの電話活動への支援(30万円)

社団福祉法人福岡いのちの電話の活動を支援します。

継続アクティビティ

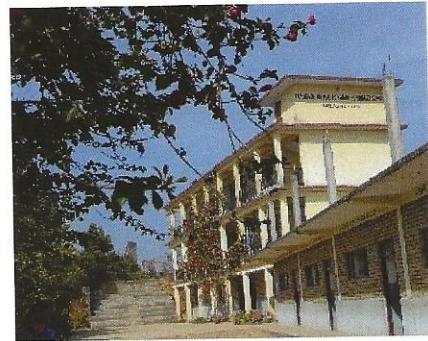
■ネパール学校運営

福岡博多東ライオンズクラブでは、結成30周年記念事業としてネパールに学校建設に着工し、1999年7月に117名の児童を集めて開校しました。

同時に学校運営する機関として福岡・ネパール児童教育振興会というNPO法人を立ち上げ、理事長として故L篠隈が就任して運営に携わってきました。

開校して20数年も経てば社会環境にも変化が生まれ、公立の学校も開校され、多いときは300名を超える児童が在籍していましたが、公立への転校もあり減少の一途を辿っていましたが、地域のこの学校に対する期待は大きいものがあり、今後私立、公立の学校が競合して学習能力の向上に期するものと考えられ、この学校も新しい私立として特徴のある学校になるべく新しい運営方針を模索中です。

今後とも皆様のご支援をいただきますようお願い申し上げます。



■ソフトバレーボール

ニュースポーツとして、日本バレーボール協会が1988年に規則を作り開発したソフトバレーボールは、「いつでも、だれでも、どこでも」をテーマにして作られたもので、子供から高齢者まで幅広く全国で愛好されているスポーツです。

特に小学生の体育の科目として取り入れられ子供達にも最も親しまれているスポーツです。大人の生涯スポーツとしても親しまれており、年代別のクラス分けでチームを作り各年齢層に分かれた地方大会、全国大会等最も盛んにおこなわれ、健康維持増進に一役買っているものです。

またファミリーの部では、小学生と親でチームを作り試合を行う等、親子のコミュニケーションが取れる場となり青少年育成に貢献しているものです。

このような社会的に意義のあるソフトバレーボールをクラブの奉仕活動の一環として続けて行きたいと考えています。



継続アクティビティ

■いのちの電話

「いのちの電話」は、市民運動として1953年に英国で始まり、それ以来、急速に世界中に広がり、現在40ヶ国に400以上の電話センターを有する組織に発展しました。

「福岡いのちの電話」は、福岡北LCのL阿部輝明氏（故人、当時福岡市医師会会長）が設立に尽力され、1984年10月に開局し、現在、24時間年中無休の体制で相談を受け、年間相談受信件数は約13,000件になります。福岡のLCも福岡北LCをはじめ複数のクラブがアクティビティとして「福岡いのちの電話」への寄付を実施し、この活動を財政面で支えています。

我が福岡博多東LCも令和3年度よりアクティビティとして寄付を始めました。寄付贈呈式では、「福岡いのちの電話」理事長の久保千春氏から卓話をいただき、メンバー一同、あらためてこの活動の尊さを認識しました。

今年度も引き続きアクティビティとして寄付を実施し、この尊い活動を財政面で支えていきたいと考えています。

心の扉を開けるかぎ

いのちの電話をご存じですか？

いのちの電話の目的

現代社会ではさまざまな悩みや不安を抱えながら身近に相談する人もなく、生きる力を失っている方が少なくありません。いのちの電話はそういう孤独な人に電話を通じて、訓練を受けた相談員が相手になり寄り添う市民のための市民の運動です。福岡いのちの電話は1984年に開局し、年間約13,000件の相談電話を受信しています。また、インターネットによるメール相談も行っています。

始まりと現状、特色

いのちの電話は市民運動として、1953年にイギリスで始まり、世界中に広がりました。現在40ヶ国で相談を受けています。日本では1971年に東京でスタートし、日本いのちの電話連盟が結成され、現在50センターが加盟・開局しています。特徴は、匿名性で、お互いの思想・信条を尊重し、相談内容は守られます。相談は無料です。

■薬物乱用防止啓発講演活動

覚せい剤、大麻など薬物乱用事件が、連日のように新聞、テレビで報道されている。そして未来ある青少年がちょっとした誘惑から薬物に手を出し、これから的人生を台無しにしてしまう事例が数多くある。青少年の健全育成の面からも由々しき問題である。

我々は薬物乱用防止啓発活動を、青少年の健全育成を念頭に長年クラブの重点事業として取り組んでいる。活動の一つは天神や博多駅前などで道行く市民の方々に啓発を呼びかけて来たが、コロナのためにここ3年は中止になった。一方、学校、大学、社会人対象に啓発講演活動は積極的に続けている。昨年は福岡県からの要請で、入庁3~5年の主事、技師の若手職員を対象に公務員倫理（薬物乱用防止）のタイトルで、将来福岡県庁の中心になるべく職員に、福岡県民のために5回に渡って講演した。

又、大学、専門学校の指導教官に、そして太宰府高校、福岡教育大学附属中学校、春日南中学校の生徒を対象に講演を行った。

昨年は合計9回に及んだが、大きな反響があった。今後もこの活動を続けて行きたい。



■ちびっ子ラグビー交流大会への支援

当クラブでは福岡市ラグビーフットボール協会が主催する「ちびっ子ラグビー交流大会」の全参加チームにラグビーボールを寄贈しています。ラグビー競技は、肉体と肉体のぶつかり合いで非常にとつつきにくいと思われてますが、幼稚園の子どもから60代、70代の高齢の方まで幅広くできる球技です。

時に、ちびっ子ラグビーチームは「ラグビーを通して心身を鍛え、他人のために何かができる子どもたちを育む」ことを目標に活動をされています。

ちびっ子の皆様がラグビーを通じ健やかに成長することを願っています。



お礼の言葉



名誉会長 L. 藤野 和之

支援の輪・常に心に留めて

世界人口が80億人を超えた。地球の資源を兵器に変え、軍と言う暴力組織が平和の為とは思えぬハイテク兵器で破壊する矛盾。

大事な資源の無駄遣いで地球温暖化や世界各地で異常気象、災害が起こり人類ばかりでなく動植物まで一大危機に見舞われ世界人類の貧富の差も広がった。

【クラブ海外支援事業計画】

結成30周年記念事業はアジアの発展途上国ネパールに識字率及び学力の向上に山村のニルマルポカリ村に小学校を建設開校し、子供達の学び舎を福岡ネパール児童教育振興会と共に自立の道を願い、また学校運営にも支援を差し伸べ、55周年記念の節目まで25年間継続となった。会員の相互の信頼、理解の輪がしっかりと定着していると思います。お陰様と感謝にお礼を申し上げます。また地域産業と住民の暮らしの安定を図るコーヒー栽培を指導し日本への輸出も始まり、相互信頼の絆が生まれています。

国内外を問わず、事業の計画は会員のたゆまぬ支援の賜物と永年に渡る活力と力強い継続によるものです。今後も会員の増強を図り一人でも多くの会員で計画、継続、融和をもって支援の輪を広げることが大切だと思います。

資源に乏しい国ですが、ヒマラヤ山脈を背に東西に長い国で山脈の山々と仏教の発祥地お釈迦様の誕生地ルンビニー聖地が唯一の観光資源です。

小さな苗木を大きく育てることは、自分の子供の教育と成長を願うごとく変わりはありません。訪問するたび人々の純粋な心と、貧しくとも輝く瞳、下の子と一緒に遊ぶ元気な子供達に出会い得たのはこの国で良かったと思い、先達の志を引き継いで参る所存であります。

在日ネパール人

日本在住 約125, 000人

内福岡県内 約6, 000人

お礼の言葉



大会実行事務局長

L. 大久保 健住

三年に及ぶコロナ禍が続き、ようやく終息するかに見えた時期もありましたが、このところ第八波の到来と更に続く流行を危惧する声もあり、我々生活者の負担は当分続くことになりそうです。

そして今後は、ウィズコロナの中で生活を送ることを余儀なくされることとなりそうです。このような中、五年を区切りに開催してきた記念式典は55年の節目を迎えることになりました。その式典の中で、5年の間に逝去されたライオンの追悼式を合わせて行うことも決まりました。

福岡博多東ライオンズクラブの歴史を継承してきた三人の追悼です。

クラブで唯一人のチャーターメンバーであったライオン長野作郎、元ネパール名誉領事ライオン篠隈光彦、そして元福岡市長ライオン山崎広太郎です。皆様輝かしい経歴のライオンでした。まさにライオンと呼ばれるにふさわしい方々でした。

本日は追悼の席で御臨席の皆様と共にご冥福をお祈りし、クラブ会員の全員が新たな気持ちで60年に向かって新たな決意を表明する場と致します。

本日は大変厳寒の時期に、たくさんの方々に御臨席頂き、励ましのお言葉を頂きました。

今後は本日の気持ちを忘れず、皆様のお言葉の一言ひとことを銘記してクラブ会員一同一丸となってライオンズ精神である「We Serve」をモットーに励んでまいります。

今後共ご指導と御鞭撻のほどを宜しくお願い申し上げます。

本日は誠に有難うございました。

物故会員 一覧表



L. 新宮 大三郎

昭和45年2月2日逝去

L. 高原 弘

昭和47年1月4日逝去

L. 草野 孫文

昭和52年10月5日逝去

L. 花田 歓一

昭和55年5月12日逝去

L. 川原 俊夫

昭和55年7月17日逝去

L. 大石 辨之助

昭和58年9月22日逝去

L. 戸田 秀市

平成元年3月8日逝去

L. 藤家 輝雄

平成2年2月10日逝去

L. 鳴川 博己

平成2年3月16日逝去

L. 末岡 満也

平成2年8月20日逝去

L. 待鳥 初民

平成3年10月19日逝去

L. 八尋 明

平成4年3月11日逝去

L. 木村 末武

平成4年8月16日逝去

L. 杉原 一志

平成5年3月13日逝去

L. 津村 寿

平成6年4月19日逝去

L. 徳島 喜太郎

平成6年12月26日逝去

L. 高橋 文一

平成8年5月21日逝去

L. 稲尾 武義

平成11年3月22日逝去

L. 高力 正男

平成12年8月28日逝去

L. 高崎 知臣

平成12年9月12日逝去

L. 高野 博義

平成13年7月9日逝去

L. 大島 明

平成15年4月16日逝去

L. 片山 一郎

平成15年5月11日逝去

L. 古川 弥作

平成18年2月2日逝去

L. 井上 辰次

平成20年4月7日逝去

L. 吉松 慶二

平成23年4月29日逝去

L. 西田 光徳

平成23年11月25日逝去

L. 篠隈 光彦

令和1年2月24日逝去

L. 山崎 広太郎

令和3年3月11日逝去

L. 長野 作郎

令和3年4月2日逝去





福岡博多東ライオンズクラブ 会員名簿

(2023.1.1現在)

(アルファベット順)



秋好正成
Masanari Akiyoshi

昭和38年3月21日生まれ
2009年2月10日入会

株式会社博栄建設
代表取締役
《建設業》

〒812-0014
福岡市博多区比恵町2-1
博多エステートビル203号
TEL:092-483-1688 FAX:092-483-1660



藤野和之
Kazuyuki Fujino

昭和14年10月7日生まれ
1995年6月27日入会

NGOダーナボックスナカ
企画室長
《宗教仏具コンサルタント》

〒811-1361
福岡市南区西長住2-18-22
薩御堂
TEL:092-512-4520 FAX:092-512-4520



原 健一
Kenichi Hara

昭和36年6月1日生まれ
2012年1月11日入会

原電機株式会社
代表取締役
《電気工事業》

〒813-0062
福岡市東区松島4-8-38
TEL:092-292-0220 FAX:092-292-0880



橋本 勝
Masaru Hashimoto

昭和19年3月19日生まれ
2012年4月3日入会

アトリエはし
代表 中央美術協会委員・九州支部特別顧問
《洋画家》

〒810-0062
福岡市中央区荒戸3丁目2-41-1004
TEL:092-406-2396



平川俊夫
Toshio Hirakawa

昭和32年2月22日生まれ
2008年1月9日入会

真田産婦人科麻酔科クリニック
理事長
《医師》

〒813-0044
福岡市東区千早6-6-16
TEL:092-681-0175 FAX:092-662-2230



入江勇臣
Isami Irie

昭和54年5月5日生まれ
2012年1月11日入会

入江商事・入江ビル
《LPガス・不動産賃貸・ビル管理業》

〒814-0123
福岡市城南区長尾4-8-1
TEL:092-871-4789 FAX:092-861-3647



一色美昭
Yoshiaki Isshiki

昭和39年4月29日生まれ
2007年5月8日入会

株式会社アーキスタイル
代表取締役
《建築設計業》

〒815-0075
福岡市南区長丘3丁目17番1号
TEL:092-408-1652 FAX:092-408-1653



岩城慎二
Shinji Iwaki

昭和33年4月6日生まれ
2020年7月14日入会

(一社)九州電気管理技術者協会
専務理事
《電気設備保守管理》

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1丁目3番11号
KDX博多南ビル6F
TEL:092-431-0067 FAX:092-431-0071



岩中 智
Satoshi Iwanaka

昭和46年4月21日生まれ
2019年5月14日入会

篠隈興産株式会社
代表取締役
《不動産賃貸業》

〒810-0042
福岡市中央区赤坂1丁目12-6
赤坂Sビルディング5F
TEL:092-771-2731 FAX:092-771-2773



樺島亮介
Ryosuke Kabashima

昭和55年1月18日生まれ
2017年11月14日入会

株式会社マサキ設計事務所
取締役
《建築設計業》

〒810-0064
福岡市中央区地行2丁目1番15号
TEL: 092-752-0815 FAX: 092-752-0824



児嶋峻司
Shunji Kojima

昭和22年5月3日生まれ
1998年7月28日入会

株式会社エスケイコーポレーション
代表取締役 エステートつかさ
《不動産・ビル管理》

〒814-0002
福岡市早良区西新4-9-3
TEL: 092-841-4188 FAX: 092-841-4211



待井弘道
Hiromichi Machii

昭和30年3月28日生まれ
2018年7月10日入会

〒810-0067
福岡市中央区伊崎8-15
TEL: 092-762-5964 FAX: 092-762-5964



松本昌憲
Masanori Matsumoto

昭和22年8月25日生まれ
2001年12月5日入会

株式会社丸昌産業
代表取締役
《総合建設業・産業廃棄物業》

〒857-0133
佐世保市矢峰町480-1
TEL: 0956-49-7522 FAX: 0956-40-9178



松尾 剛
Tsuyoshi Matsuishi

昭和16年2月1日生まれ
1994年7月12日入会

株式会社シダー
相談役
《介護事業》

〒802-0042
北九州市小倉北区足立2-1-1
TEL: 093-932-7005 FAX: 093-932-7015



女賀信治
Shinji Mega

昭和47年9月5日生まれ
2009年7月14日入会

ソニー生命保険株式会社
《生命保険業》

〒812-0036
福岡市博多区上呉服町10-10
呉服町ビジネスセンター6F
TEL: 092-283-0072 FAX: 092-283-0062



宮田克彦
Katsuhiko Miyata

昭和31年6月20日生まれ
2013年2月26日入会

西日本鉄道株式会社
顧問(非常勤)、自営・不動産貸付業

〒810-0064
福岡市中央区地行4-1-19
TEL: 092-724-3164 FAX: 092-724-3164



水城昭正
Terumasa Mizuki

名譽会員
昭和15年1月1日生まれ
1991年5月8日入会

〒812-0894
福岡市博多区諸岡4-36-35
TEL: 092-591-2089 FAX: 092-591-2089



守谷正人
Masato Moriya

昭和40年6月21日生まれ
2017年12月12日入会

福岡県議会議員

〒814-0104
福岡市城南区別府6-2-20 守谷正人事務所
TEL: 092-851-3679 FAX: 092-851-3670



中島英之
Hideyuki Nakajima

昭和17年5月31日生まれ
1999年10月26日入会

株式会社太陽薬局
代表取締役会長・薬剤師
《調剤薬局》

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通2-2-1
西村ビル1階
TEL: 092-712-7762 FAX: 092-712-9177



西山多嘉穂
Takane Nishiyama

昭和17年1月5日生まれ
1998年1月27日入会

NPO法人ライオンズの森プロジェクト
事務局長
《特定非営利活動法人》

〒810-0023
福岡市中央区警固3-9-29
TEL: 092-714-5053 FAX: 092-714-4643



大久保淑住
Yoshizumi Okubo

昭和16年1月16日生まれ
1998年1月27日入会

有限会社菊水薬局
取締役
《薬剤師》

〒811-1321
福岡市南区柳瀬1-33-10
TEL: 092-501-2909 FAX: 092-582-3276



大島 実

Minoru Oshima

昭和27年2月16日生まれ
2004年12月21日入会

大阪保温工業株式会社
代表取締役社長
《建設業》

〒812-0017
福岡市博多区美野島3-10-4
TEL: 092-471-1461 FAX: 092-471-8942



林 紀全

Rin Kizen

昭和58年6月18日生まれ
2021年3月23日入会

新義豊株式会社
代表取締役社長

〒812-0016
福岡市博多区博多駅南3-17-15-402
TEL: 092-984-3200 FAX: 092-303-8179



白松勝美

Katsumi Shiramatsu

昭和39年3月4日生まれ
2009年3月10日入会

ANAクラウンプラザホテル福岡
宿泊部長兼セールススーパーバイザー
《ホテル業》

〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-3-3
TEL: 092-472-7300 FAX: 092-472-7802



田島彰洋

Akihiro Tajima

昭和55年3月30日生まれ
2018年12月11日入会

株式会社 田島商会
代表取締役
《電気機器卸売業》

〒812-0011
福岡市南区玉川町13-8
TEL: 092-710-3275 FAX: 092-710-3276



武村誠治

Seiji Takemura

昭和39年7月17日生まれ
2022年7月26日入会

九電産業株式会社
旅行部 理事・旅行部長
《旅行業》

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通2-1-82 電気ビル6階
TEL: 092-731-4891 FAX: 092-781-1632



陳 銘俊

Chen, Bruce Ming-Chun

名譽会員
昭和39年3月21日生まれ
2021年11月24日入会

台北駐福岡経済文化辦事處
處長(總領事)
駐福岡台灣總領事館

〒810-0024
福岡市中央区桜坂3-12-42
TEL: 092-734-2810 FAX: 092-734-2819



山田達也

Tatuya Yamada

昭和51年6月3日生まれ
2013年8月27日入会

新星法律事務所
弁護士
《弁護士》

〒810-0004
福岡市中央区渡辺通2-8-10 九州山光社ビル4階
TEL: 092-739-1555 FAX: 092-739-1567



安元孝文

Takafumi Yasumoto

昭和38年6月26日生まれ
2020年7月14日入会

九州電力株式会社
福岡東営業センター
センター長
《電力事業》

〒813-8513
福岡市東区名島2-19-12
TEL: 092-671-9000 FAX: 092-671-9023



行武志郎

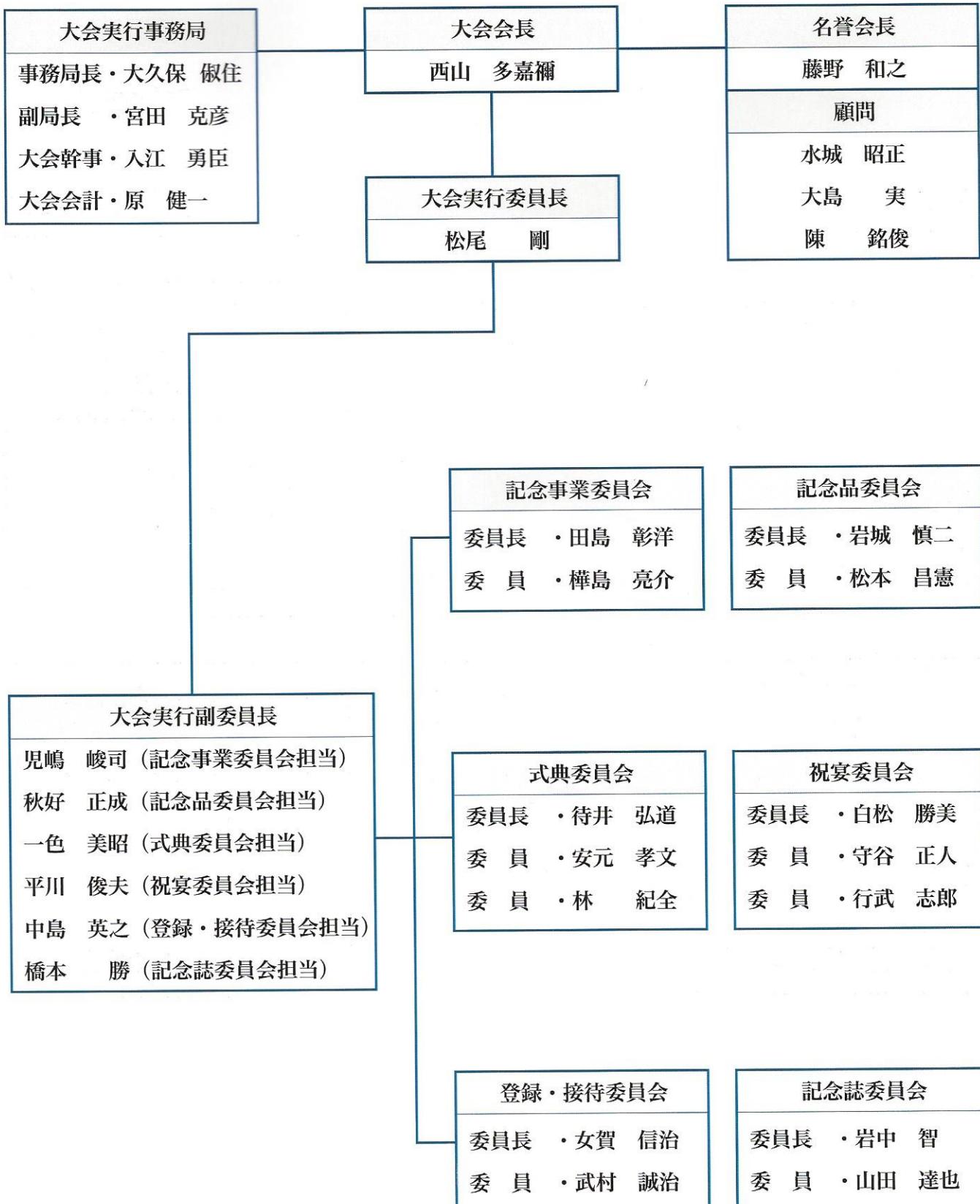
Shirou Yukatake

昭和52年10月6日生まれ
2017年11月14日入会

株式会社ワイテック
代表取締役
《建設・不動産業》

〒812-0018
福岡市博多区博多駅南2丁目11番2号
TEL: 092-292-1516 FAX: 092-292-1517

55周年記念事業 式典組織図





福岡博多東ライオンズクラブ

〒810-0001 福岡市中央区天神 3 丁目 15-24 三天第一ビル 3F

TEL:092(771)5781 FAX:092(771)5789

福岡博多東ライオンズクラブ 結成 55 周年記念誌

55 年のあゆみ (2023 年 2 月 14 日発行)

編 集 / 記念誌委員会

委員長 / 岩中 智

委 員 / 山田 達也

表 紙 / 中央美術協会委員

福岡博多東ライオンズクラブ会員

L. 橋本 勝